

# 視覚失認を呈した方への復職支援について

- 豊田 志奈子（三重県身体障害者総合福祉センター 作業療法士）  
橋本 年代・鈴木 真（三重県身体障害者総合福祉センター）

# 三重県身体障害者総合福祉センター

県内の高次脳機能障害拠点病院と、  
高次脳機能障害支援コーディネーター  
を介して連携し

- ・ 神経心理学的検査
- ・ 認知リハビリテーション
- ・ 生活リハビリテーション
- ・ 社会リハビリテーション
- ・ 職業リハビリテーション

を実施

プログラム

9 : 00 ~ 16 : 00      40分 × 8コマ

理学・作業・言語・心理

作業Ⅰ（軽作業）

作業Ⅱ（事務作業と職業評価）

情報（OA）・創作・スポーツ



# はじめに

左後大脳動脈の梗塞により統合型視覚失認、  
純粹失読、記憶障害を呈したが復職に成功した事例

視覚失認：視力や視野に問題はないが、見たものが何か  
分からない病態

純粹失読：字を読むことが選択的に障害されている病態

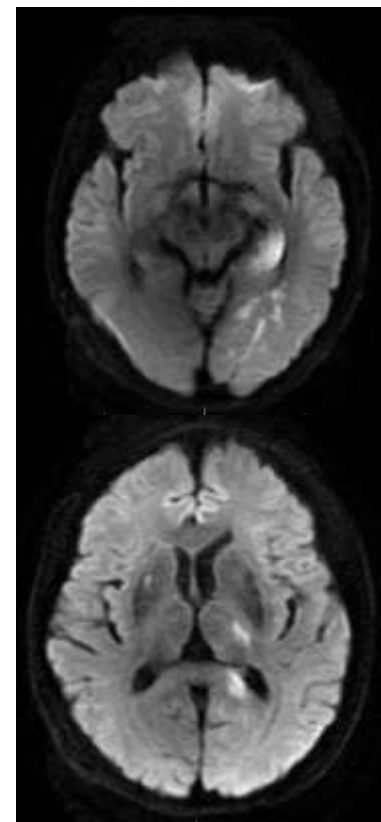


- 目での確認が難しく物事を正確に行えない？
- 自分のメモが読めない？

復職できるか？業務遂行できるか？

# 事例紹介（50代後半 男性）

- 疾患名 : 左後大脳動脈梗塞
- 障害名 : 統合型視覚失認、右半盲、色彩失認、  
純粋失読、記憶障害、健忘失語
- 現病歴 : X年：右半盲と右下肢麻痺を発症し上記診断。  
X年2W～6か月  
急性期と回復期における高次脳  
機能障害拠点病院の2か所で認知リハビリ  
テーションを受けた。  
X年+6か月半～X+1年10か月  
当センターにおいて、就労訓練目的  
で週3回の通所利用した。
- 家族構成 : 妻 子ども2人
- 主 訴 : 字が読めない。薬の知識、記憶がない。  
右側から物が飛び出す感覚に不快感がある。
- ニーズ : ・定年退職前に復職しその後、再雇用で働きたい。  
・職場まで1人で通勤できるようになりたい。
- 就労歴 : 調剤薬局の薬剤師（管理職）。県内複数の調剤薬局の  
人事管理、監査、服薬説明を行っていた。



# 復職を考えた場合に求められる業務

## 調剤業務 (ピッキング)

- 処方箋を読む
- 薬剤を迅速、正確にピッキング(加えて分量計算)

- ① 薬剤は3000種類以上、規格が多数、かな順に並ぶ。
- ② 薬剤名と効能を記憶していることが望ましい。
- ③ 通勤は電車と徒歩で行く必要がある。

# 評価

## 人柄・印象

- ・温厚で努力家。家では薬剤の勉強をしている。
- ・自分の状況をうまく説明できる。
- ・薬剤師として真面目に職務遂行してきた。

## 身体機能

BRS(右): 上肢VI 手指VI 下肢VI  
麻痺は軽度。  
感覚障害: 問題なし

## ADL・APDL

ADL : FIM125/126点 (運動項目90/91 認知項目35/35)

身辺動作は自立

APDL : **電気製品の使用が困難** (リモコン・携帯電話、電子レンジ等)

**買い物**

- ・商品の色や形が分かりづらい。
- ・紙幣やコインの識別困難。
- ・クレジットカードの挿入方向が分からず支払い困難

**外食時**

- ・メニューから選べない。

**公共交通機関の利用**

- ・駅まで徒歩、電車、バスに乗り換えて通所できたが駅名や行き先の視覚確認が困難で不安が強い。

# 高次脳機能評価

注意機能					
視覚性 抹消 課題	△：秒	113秒	Digit Span	forward	7
	正答率	100%		backward	6
	的中率	100%	Tapping Span	forward	7
	図形：秒	154秒		backward	5
	正答率	100%	聴覚性 検出課題	正答率	84%
	的中率	100%		的中率	84%
	3：秒	191秒	SDMT	達成率	15.5%
	正答率	100%			
	的中率	100%	PASAT	正答率 2S	93.3%
	か：秒	283秒		正答率 1S	36.7%
正答率	99%	Position Stroop	秒	117秒	
的中率	99%		正答率	98.2%	

知的機能	WAIS-III	FIQ	110
		VIQ	118
		PIQ	97
遂行機能	BADS	標準化得点	108

**知的機能：** 問題なし。処理技能が低下  
**遂行機能：** 問題なし。

記憶	WMS-R	一般的記憶	87
		言語性記憶	86
		視覚性記憶	83
		注意集中	107
		遅延再生	84
	リバーモード	標準プロフィール	13
		スクリーニング	5

**記憶機能：**

- ・中等度記憶力低下に自覚あり。
- ・逆行性健忘＋（病前の職務内容の詳細、薬剤の知識、社員などの名前、顔）
- ・前行性健忘＋
- ・印象の強い事は覚えられる。

**注意機能：**

- ・ワーキングメモリーは問題なし
- ・視覚性注意はスピードが低下する。
- ・視覚、記憶を利用した処理能力は低下する。



# 標準高次視知覚検査 (Visual Perception Test for Agnosia)

1. 視知覚の基本機能	
1) 視覚体験の変化	0 2
2) 線分の長さの弁別	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
3) 数の目測	0 1 2 3 4 5 6
4) 形の弁別	0 2 4 6 8 10 12
5) 線分の傾き	0 1 2 3 4 5 6
6) 錯綜図	0 1 2 3 4 5 6
7) 図形の模写	0 1 2 3 4 5 6

・商品を見てもなにか分からない。

4. 色彩認知	
25) 色名呼称	0 2 4 6 8 10 12 14 16
26) 色相の照合	0 2 4 6 8 10 12 14 16
27) 色相の分類	0 2 4 6 8 10 12
28) 色名による指示	0 2 4 6 8 10 12 14 16
29) 言語一視覚課題	0 1 2 3 4 5 6
30) 言語一言語課題	0 1 2 3 4 5 6
31) 色鉛筆の選択	0 1 2 3 4 5 6

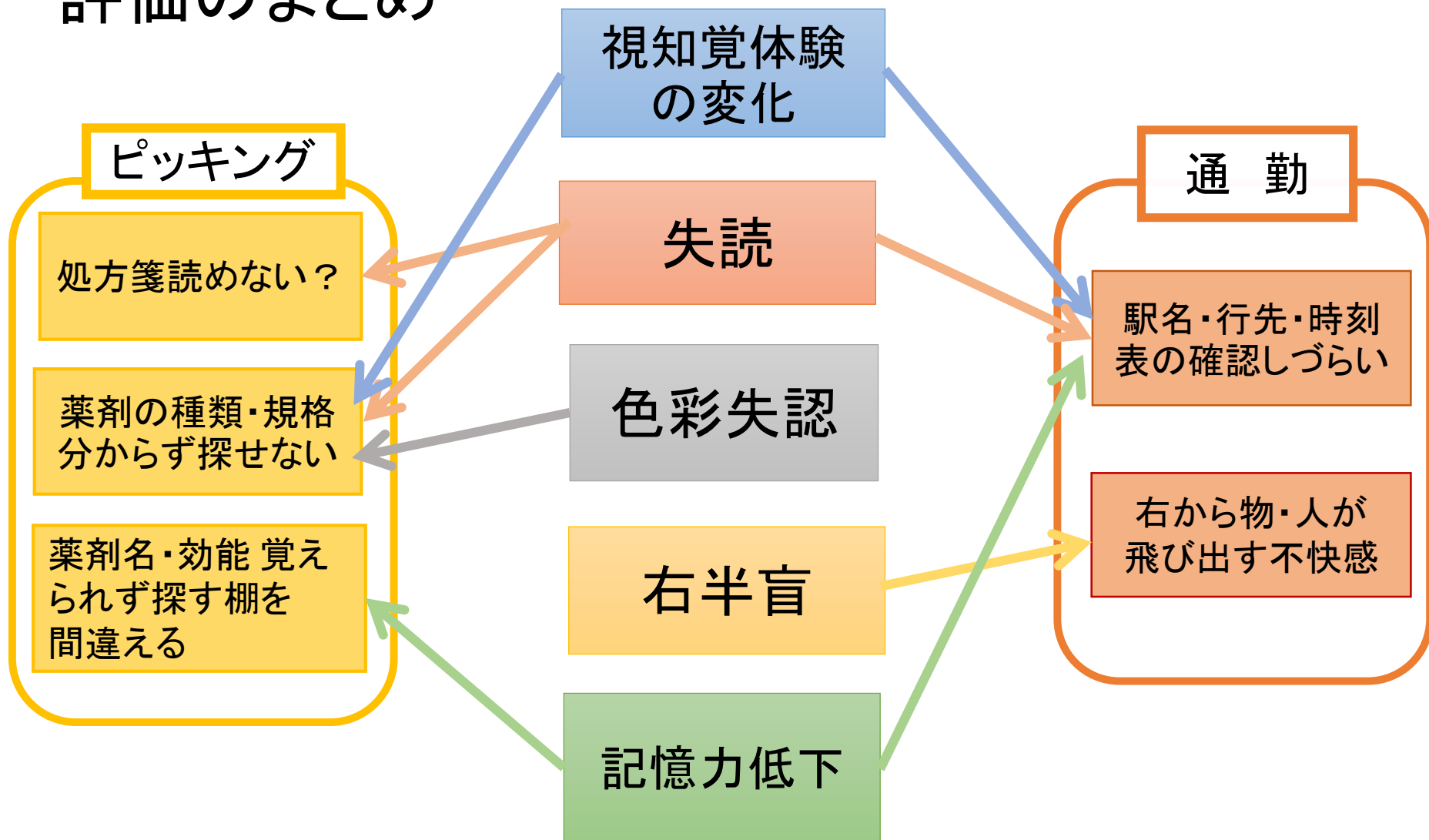
・色の名前を間違える。  
 ・青と緑を混同する。  
 ・近似色の認知が低下。

5. シンボル認知	
32) 記号の認知	0 2 4 6 8
33) 文字の認知 (音読)	0 1 2 3 4 5 6
イ) カタカナ	0 2 4 6 8 10 12
ロ) ひらがな	0 2 4 6 8 10 12
ハ) 漢字	0 2 4 6 8 10 12
ニ) 数字	0 2 4 6 8 10 12
ホ) 単語・漢字	0 2 4 6 8 10 12
単語・カナ	0 2 4 6 8 10 12
34) 模写	0 2 4 6 8 10 12
35) なぞり読み	0 5 10 15 20
36) 文字の照合	0 2 4 6 8

・ひらがなとカタカナはなぞり読みが有効。文字の角度を手掛かりに読む。  
 ・漢字は偏と旁を組み合わせて読む。文章中では読字困難。  
 ・数字は逐次読み。  
 ・文章は逐次読みすると前文を忘れ、全体の意味把握は困難。  
 ・薬品名は時間をかけずに読める。  
 ・自分の字は読めない。



# 評価のまとめ



# 評価のまとめ

## 個人因子

### 性格・思い

- ・情緒が安定。
- ・復職の意思が強い。
- ・知的で論理的に説明可能。
- ・コミュニケーション能力に問題なし。
- ・これまでの薬剤師としての仕事に誇りがある。

### 努力

- ・文字を読む練習を怠らない。
- ・薬剤名と効能の覚えなおしを行っている。

## 環境因子

### 家族

- ・家族も復職を望んでいる。
- ・家族サポートを得られる。

### 職場

- ・職場からの信頼？

## 目 標

1. 処方箋の薬剤名を読める
2. 薬剤を数分で必要数をピックアップできる
3. 通勤を安全に1人で行える
4. 6時間勤務に耐える体力の向上

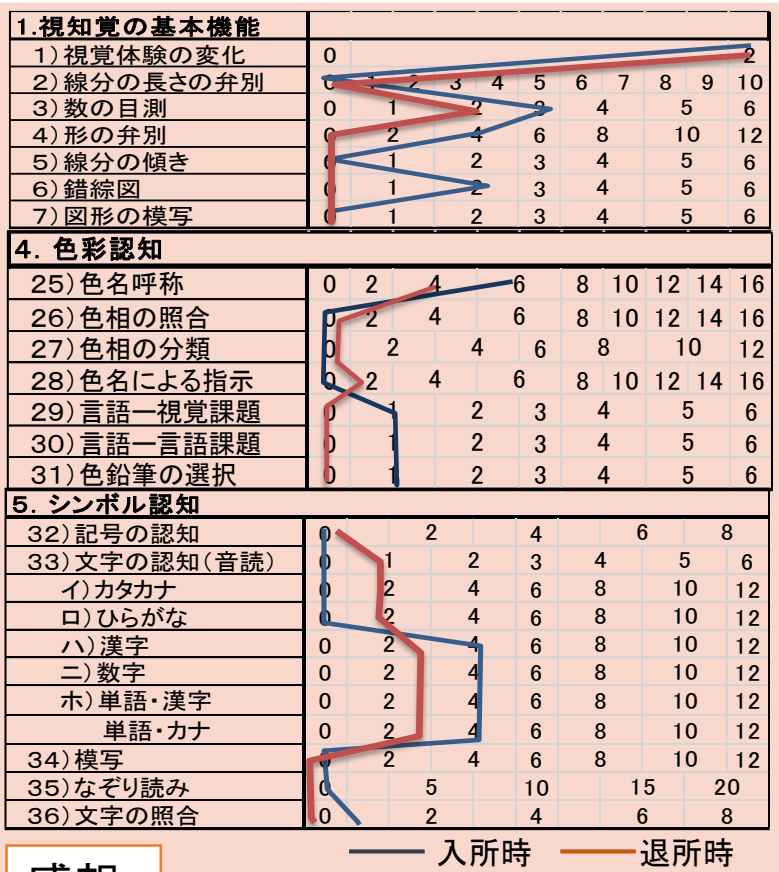
# 経過

## (1) 高次脳機能障害へのアプローチ期

	受傷後期間	7ヵ月	8ヵ月	9ヵ月	10ヵ月	11ヵ月	12ヵ月	13ヵ月	14ヵ月	15ヵ月	16ヵ月	
	通所開始後期間	1ヵ月	2ヵ月	3ヵ月	4ヵ月	5ヵ月	6ヵ月	7ヵ月	8ヵ月	9ヵ月	10ヵ月	
作業療法	1.2年生文章読解	→										
	シークワーズ			→								
	薬剤名を探して貼り付ける				→							
	カタカナ課題								→			
	クロスワード									→		
理学療法	下肢・体幹筋カトレ	→										
	片足立ち・スクワット	→										
	エルゴメーター	→										
	2km持続歩行	→										
言語療法	3～4の記銘と書字	→										
	長文読み		→									
	広告の記銘				→							
	ニュースを読む				→							
	北風と太陽の読み 把握									→		
作業訓練 I	シール折・カット・貼り	→										
	ラベル入れ・切り	→										
	ピッキング				→							
情報訓練	Word短文入力		→									
創作訓練	焼き絵	→										

# 訓練効果・改善傾向について

## 視知覚について



**感想**

- ・カタカナは読みやすいと感じる。(本人)
- ・単語はなぞり読みでスピードが向上しているような気がする。(職員)

## 記憶について

		通所開始時	退所時	
記憶	WMS-R	一般的記憶	87	94
		言語性記憶	86	97
		視覚性記憶	83	90
		注意集中	107	114
		遅延再生	84	75
リバーミード 行動記憶検査	標準プロフィール スクリーニング	13	20	
		5	8	

**感想**

- ・馴染みの薬剤名は思い出せるようになった。(本人)
- ・記憶の保持時間が長くなっている。(職員)

## 情報 PC文書入力

10分間の文書入力文字数: 82文字

- ・困難と思われたがタッチタイピング可能だった。
- ・スピードは遅いが正確に入力できた。

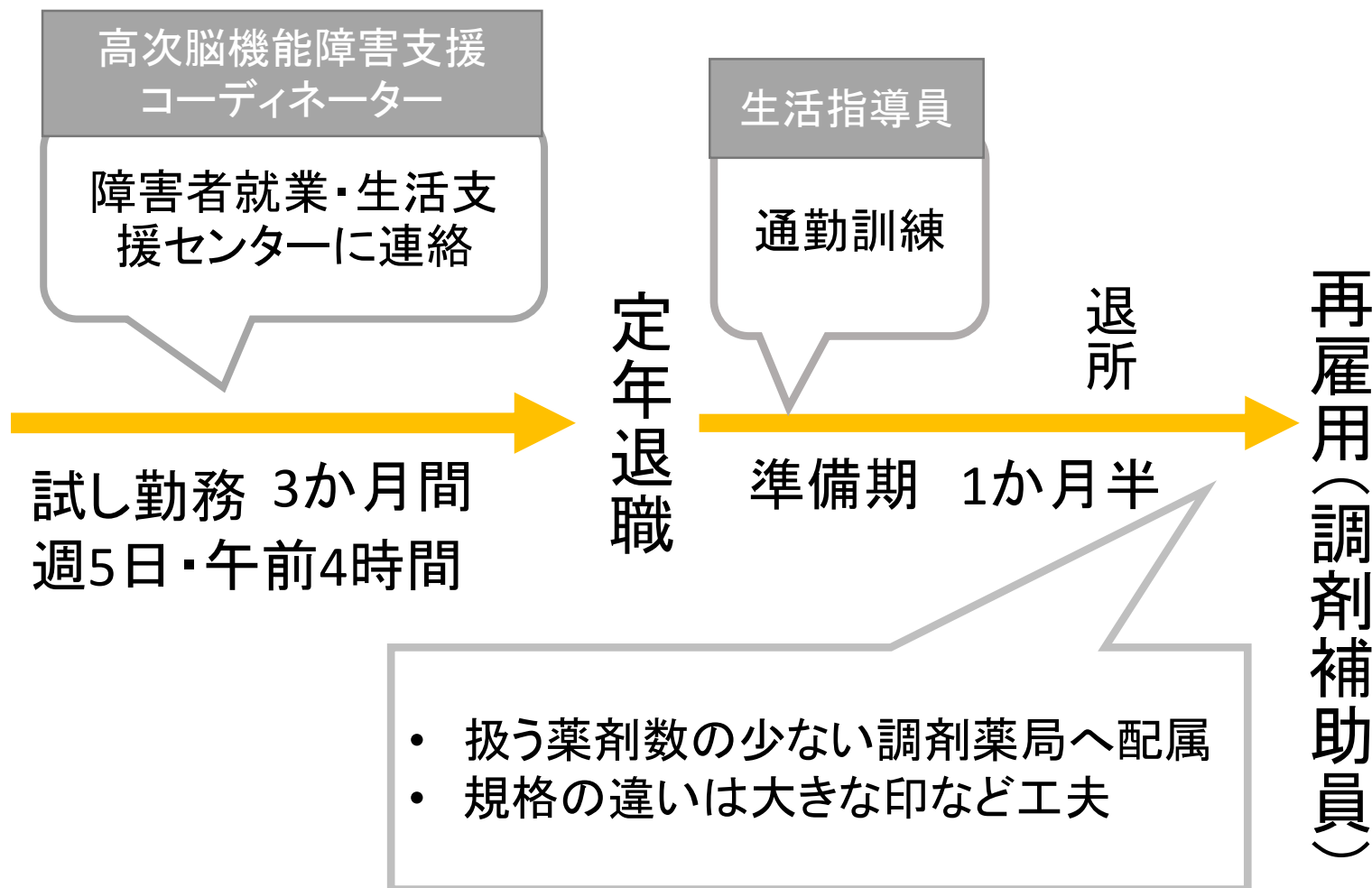
## 作業 I ピッキング

6品目で40分

- ・スピードは遅いが諦めずに行っていた。

## 経過 (2) 就労準備の時期

復職の意思を伝える



## 経過 (3) 3年後の現在(電話にて確認)

### 就労状況について

- 障害者雇用枠で週30時間、調剤補助員として就労を継続していた。
- 通勤は、毎日同じ時間の電車に乗ることはできている。
- 右からの物や人が突然現れる不快感は改善しないが、歩行中は注意するようになっている。
- PCの入力は行っていない。

### 症状について

視覚失認、失読、記憶障害について改善した自覚はない。  
(「い、こ」など似た文字は間違えやすい。)



## 調剤業務の遂行について

- 薬剤名を途中まで読むと勘でピックアップする。
- 病前に扱った薬剤は覚えており、頻繁に扱うものは正確に10分程度でピックアップできている。
- 数については100までは暗算が可能で、それ以上の場合は電卓で計算する。
- 種類、分量は調剤監査機械での確認後、別の調剤員の再チェック、薬剤師の監査があり、ミスを防ぐ仕組みがある。
- 規格違いへの対応は①間違えない場所を決める。②ラベルに大きな印をつける。③入れる棚を変える の3点を行っている。
- 棚は過誤被害を軽減するため普通薬、麻薬、劇薬などで分かれており効能を知らなければ探す棚を間違えやすいため、早めの出勤後と午後の休憩時間を利用して2時間以上の勉強で効能を覚えなおし、1日記憶保持する努力を行っている。次の日には忘却するため、毎日繰り返す。
- 上司に言われたことは気合で覚え、家族に話しておく。
- 失敗は努めて気にせず、状況に応じて自分にできることをしている。

## 考察 ～復職に成功した要因～

- 残存機能や、回復の見込みがあり、それらを考慮した就労に向けてタイムリーな介入と他職種による多様なプログラムが提供されたこと。
- カタカナ単語である薬剤名が読めるようになったこと。
- 作業全般的にスピードは遅いが、正確に行えていたこと。
- 本人が知的に高く、読みや記憶に対し努力をしていたこと。
- 復職先は慢性的な人手不足。
- 薬局業務自体に人為的ミスの軽減のために配慮をする土台があった。

## 今後の課題

- 今回は本人からの情報を元に、復職後の業務を想像し、考えたプログラムであった。  
職場からの具体的な情報は得られていなかったために、限られた業務のみに焦点をあてた支援となった。
- 早い段階で復職先から求められる業務内容を把握し、作業分析することで、具体的な訓練を提供することができる。
- 就労機関と職場との密な連絡を早期より行うことが必要と考える。